

# 復旦大の「顧問」に

## 東北大の 中国側研究に協力 川添教授



川添教授

東北大金属材料研究所の川添良幸教授(西モ)材料情報学が中国・上海市の復旦大の「顧問教授」に就任する。復旦大に計画されている「上海コンピュータシ

ミュレーション新材料設計研究センター」の設立に協力するため、東北大から初めて、中国の大学の顧問教授に就任することになった。

川添教授はコンピュータによるシミュレーションで、新材料の設計に取り組んでいる研究者。東北大・金研は五年度に専用のスーパーコンピュータを使っ

た材料設計システムを構築、国内トップクラスの成果を上げている。

復旦大は理工系では清華大と並んで中国トップクラスの大学。陶瑞宝教授(固体物理)が今年一月まで金研客員教授として在籍、川添教授と共同研究を実施したことも、顧問教授を要請されるきっかけになった。

顧問教授は日本の大学にはない制度だが、学長に直接アドバイスすることが求められる重要ポスト。川添教授は物理系では日本人として初めての復旦大顧問教授に選ばれ、「センターで利用するコンピュータ

ーネットワーク構築などの面で、助言する予定」(川添教授)という。復旦大との共同研究も引き続き行

う。  
金研の鈴木謙爾所長と川添教授は二十二日、復旦大で楊福家学長と会い、顧問教授に正式に任命されるほか、記念講演を行う。川添教授は今後、年に二度程度ずつ復旦大に赴き、協力する。